

MAZDA



2025年12月26日

## マツダ、CDP の「水セキュリティ」分野で最高評価「A リスト」に初選定

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、環境分野の国際的な非営利団体である CDP より、当社グループとしての水セキュリティへの取り組みと情報開示が評価され、「水セキュリティ」分野での最高評価となる「A リスト」企業に初めて選定されました。



CDP は、独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体です。多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するために CDP のシステムを活用しています。2025 年度の評価においては、640 社を超える金融機関(資産総額 127 兆米ドル超)の要請のもと、世界中の 24,800 社を超える企業が CDP を通じた情報開示に応じています。

自動車の製造では、冷却(鋳造工程における炉の冷却など)、希釈(機械加工工程における切削液や洗浄液の原液の希釈など)、洗浄(塗装工程における車体の洗浄など)といった用途で、水が不可欠です。よって、将来的に懸念のある水の枯渇や水価格の上昇などのリスクに対して、水セキュリティの取り組みが必要となります。

マツダでは、「自然の恵みである水資源を価値あるものに使い切る(=無駄なく有効活用する)」および「自然の恵みである水資源を取水時と同レベル(質)にしてお還しする」ことを基本方針に掲げ、2030 年には水資源の再生・循環の取り組みを国内モデルプラント\*で実現し、2050 年にはグローバル生産工程で実現することを目指してきました。

この実現に向け、日本国内の当社グループ全体における取水量を 2030 年度に 2013 年度比で 38% 削減する目標を定め、毎年 2% ずつの削減達成を目指した節水および雨水や再生水の利用を拡大する活動を、着実に進めてきました。結果、2024 年度実績では 2013 年度比で 37% の削減を達成しており、この取り組みなどが今回の「A リスト」評価につながったと考えています。

マツダは、今後も自然の恵みである水資源の保全に努め、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献してまいります。

## ■ご参考(MAZDA 企業サイト|サステナビリティ|)

水資源保全の取り組み：

[https://www.mazda.com/ja/sustainability/environment/resource-circulation/#sus\\_sigen07](https://www.mazda.com/ja/sustainability/environment/resource-circulation/#sus_sigen07)

イニシアチブへの署名・参加、社外からの評価：

<https://www.mazda.com/ja/sustainability/initiatives-recognition/>

以 上

---

\* 新しい試みなどを先行して実施する施設。